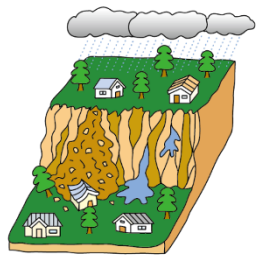


岩見沢市 土砂災害警戒区域等 避難経路図（上志文地区②）

土砂災害 とは

大雨や雪どけ水、地震などによって発生する「がけ崩れ」、「土石流」、「地すべり」のことを土砂災害と言います。

がけ崩れ



地面にしみ込んだ水分で土の抵抗力が弱くなり、弱くなった斜面が突然崩れ落ちる、急な斜面で発生する災害で、突発的に起こり、速いスピードと強い破壊力を持ちます。

がけ崩れの兆候

- 小石がパラパラと落ちてくる。
- がけにひび割れができる。
- がけから水が湧き出る。
- 湧き水が止まる・濁る。
- 地鳴りがする。

土石流



大雨がきっかけとなり、谷や斜面にたまった土砂が、雨による水と一緒に一気に流れ出して起こる災害で、流れの急な河川や扇状地で発生する可能性があります。

土石流の兆候

- 山鳴りがする。
- 急に川の水が濁り、流木が混ざり始める。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。
- 腐った土のにおいがする。
- 立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる。

地すべり



比較的ゆるやかな斜面において、滑りやすい地中の粘土層などが、地下水などの影響でゆっくりと動き出す現象で、広い範囲で起こる可能性があります。

地すべりの兆候

- がけや斜面から水が湧き出す。
- 地面がひび割れたり陥没する。
- 井戸や沢の水が濁る。
- 地鳴り、山鳴りがする。
- 家や壁に亀裂や段差が発生する。
- 樹木や電柱が傾く。

※岩盤が露出している箇所の緑化は、落石等による災害が発生するおそれがありますので、区域の有無に関わらず注意してください。

土砂災害に関する情報 とは

5段階の警戒レベル（早期注意情報、レベル2土砂災害注意報、レベル3土砂災害警戒報、レベル4土砂災害危険警戒報、レベル5土砂災害特別警戒報）に分かれており、大雨による土砂災害の危険性が高まったときに、気象台から発表され、テレビやラジオ等の天気予報やインターネットによって把握することができます。

土砂災害に関する情報の発表基準

気象台が設定した基準値（土壌雨量指数と一時間雨量による）を超過すると予想された場合に市町村単位で発表される。

土砂災害に関する情報が発表されたら

- ハザードマップなどで避難経路を確認し、早めの避難を心がける。
- 土砂災害の発生する恐れのある箇所には近づかない。
- 携帯電話やテレビ、ラジオなどから発信される情報に注意する。

避難情報等の伝達方法

河川の氾濫や土砂災害が発生する恐れがある場合は避難情報を緊急告知 F M ラジオや緊急速報メール（エリアメール）などでお知らせします。

- 高齢者等避難 → 危険な場所から高齢者等の避難に時間がかかる人は避難
- 避難指示 → 危険な場所から全員避難
- 緊急安全確保 → 命の危険が迫っているため、直ちに身の安全を確保

土砂災害警戒区域 とは

黄色で囲まれた範囲（土砂災害警戒区域）

急傾斜地の崩壊等が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生じるおそれのある区域

赤色で囲まれた範囲（土砂災害特別警戒区域）

急傾斜地の崩壊等が発生した場合、建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれのある区域

※土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、避難が必要になる場合がありますので、土砂災害に関する情報に注意してください。
※土砂災害警戒区域以外の箇所でも土砂災害の発生する可能性がありますので、自分の住んでいる家の周辺の斜面、溪流、避難所などをよく確認しておきましょう。

情報伝達手段

- ・緊急告知 F M ラジオ
- ・緊急速報メール（エリアメール）
- ・市メールサービス（登録制）
- ・テレビやラジオのニュース速報
- ・市ホームページ
- ・X（旧ツイッター）
- ・フェイスブック
- ・ヤフー防災速報（登録制）
- ・町会、自治会への F A X 送信 など

【凡例】

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域
- 避難所
- 避難所（被災するおそれあり）
- 避難経路
- 避難経路上の危険箇所

